

地域の安心安全のため警察官の猛暑対策で空調ベスト導入を実現

公明党 鈴木ひでし

近年の地球温暖化の影響で、夏の気温は年々上昇しています。気象庁の発表によると、今年7月は全国的に記録的な高温となり、8月も高温が持続し、特に西日本では統計開始以来、最も高くなつたとされています。

このような状況の中、私は地域の安心安全を守る警察官が日中の巡回などでも適切に働けるように、警察官の空調ベストの着用を神奈川県議会に求め、実現する運びとなりましたのでご報告させていただきます。

耐刃防護衣は異常な高温

昨今の暑さを受けて、一般の工事現場では空調ベストの導入が進んでいます。空調ベストは軽量で、体温調節をサポートする機能を備えていることから、警察官がこれを着用すれば、高温環境下でも体温を適切に調整できるようになり、熱中症のリスクや暑さによるストレスは、大きく軽減されます。

警察官は、真夏であっても、様々な装備を身に着けてパトロールに従事しなければなりません。彼らの貢献と奉仕精神に



耐刃防護衣の下に空調ベストを着用した様子(上)と空調ベスト

敬意を表しますが、暑さ千万円の予算がつき、県警の警察官が日中の巡回などでも適切に働けるように、警察官の空調ベストの導入を進めています。彼らの健康とパフォーマンスの向上は、地域の安全と治安維持に直結しています。警察官の勤務条件や労働環境の改善にも寄与します。適切な環境で働けることは、警察官のモチベーションや職業への満足度を向上させ、人材確保や定着率の向上にも繋がります。

警察官の人材確保にも

また、警察官の健康とパフォーマンスの向上は、地域の安全と治安維持に直結しています。警察官の勤務条件や労働環境の改善にも寄与します。適切な環境で働けることは、警察官のモチベーションや職業への満足度を向上させ、人材確保や定着率の向上にも繋がります。

要望実現、来年6月導入へ

こうした背景から、私は、神奈川県庁の財政当局や県警本部に対し、現場の警察官の窮状と空調ベストの必要性を訴えまくりました。その結果、この9月補正予算において約1億8千万円の新規予算により、神奈川県警の空調ベストの導入、パトロール中の着用を認める動きが出ています。今回の補正予算により、神奈川県警の空調ベストの導入、パトロール中の着用を認める動きが出ています。今回の補正予算により、神奈川県警の空調ベストの導入、パトロール中の着用を認める動きが出ています。



モットーは「まかせて安心! いのちと生活を守る!鈴木ひでし。」
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。厚生常任委員会、社会・健康対策特別委員会
<http://www.hideshi-suzuki.com/>

神奈川県警の地域社会の安心・安全の確保と警察官の労働環境改善のために、警察官の猛暑対策、とりわけ空調ベストの早期導入に向けて、引き続きしっかりと取り組んでまいります。